

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	U-KIDS' SAKAISUJIHOMMACHI		
○保護者評価実施期間	1月5日2025年	～	2月20日2026年
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 9名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	1月5日2026年	～	2月20日2026年
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	3月2日2026年		
○分析結果			
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援計画の作成から実施、振り返りまでの一連の業務がチーム全体で共有・徹底されている点。	支援前後のミーティングを毎日欠かさず行い、子どもの様子や課題を詳細に共有することで、統一した支援を提供している。	職員一人ひとりの専門性とチームとしての対応力をさらに向上させていく。
2	施設内の環境整備や安全対策が万全であり、保護者・子ども共に安心して通所できる環境が提供されている点。	構造化されたわかりやすい環境設定や清潔保持に加え、安全計画や各種マニュアルの整備・訓練を徹底して行っている。	子どもの発達段階や特性の変化に合わせて、より快適で刺激の少ない静養スペースの拡充など、環境の微調整を継続する。
3	重要事項や支援計画の内容について丁寧な説明が行われており、権利擁護や情報管理に対する意識が高い点。	契約時や計画更新時に十分な時間を取って説明を行い、保護者の意向や悩みを確認した上で同意を得るプロセスを重視している。	透明性の高い運営と、保護者との信頼関係の維持・強化に努める。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所・幼稚園等の他機関との交流や、地域住民を招いた行事など、地域社会との連携・交流機会が不足している点。	感染症対策や所内での個別・集団療育の充実を最優先としてきたため、外部との調整や交流イベントの企画が困難であった。	近隣施設との連携を模索し、地域行事への参加や合同イベントを企画するなど、子どもが社会性を育む機会を創出していく。
2	保護者同士の交流会やきょうだい児も参加できるイベント、ペアレント・トレーニング等の家族支援が十分にできていない点。	個別送迎が中心で保護者が顔を合わせる機会が少ないことや、プライバシー配慮、日程調整の難しさから開催に至らなかった。	保護者のニーズをアンケート等で把握し、オンライン活用や休日開催など、参加しやすい形態での家族支援プログラムを検討する。
3	地域の児童発達支援センター等からの助言(スーパーバイズ)を受ける機会や、第三者評価の導入が十分でない点。	自社内での自己評価や業務改善の取り組みに注力しており、外部の専門機関からの客観的な評価や助言を得る体制が弱かった。	専門機関との連携を強化して定期的な助言を仰ぐとともに、第三者評価の受審を計画し、客観的な視点を取り入れた質向上を図る。

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				利用児童数		回収数							
U-KIDS' SAKAISUJIHOMMACHI		2026年 3月6日				10名		7名							
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	No	集計数	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	100%	0%	0%	0%			1	7	7					
	2	86%	14%	0%	0%			2	7	6	1				
	3	100%	0%	0%	0%			3	7	7					
	4	86%	14%	0%	0%	窓がない		4	7	6	1				
適切な 支援の 提供	5	86%	14%	0%	0%	専門的な視点から記録が書かれている 方とそうでない方がいて職員の専門性 にバラツキを感じる。	管理職の個別指導と相互点検を強化し、 記録の質の向上を図ります。	5	7	6	1				
	6	100%	0%	0%	0%			6	7	7					
	7	100%	0%	0%	0%			7	7	7					
	8	100%	0%	0%	0%			8	7	7					
	9	100%	0%	0%	0%			9	7	7					
	10	100%	0%	0%	0%			10	7	7					
	11	29%	14%	0%	57%			11	7	2	1		4		
	12	100%	0%	0%	0%			12	7	7					
	13	100%	0%	0%	0%			13	7	7					
	14	29%	14%	0%	57%			14	7	2	1		4		
	15	100%	0%	0%	0%			15	7	7					
保護者へ の説明等	16	86%	0%	0%	14%			16	7	6			1		
	17	100%	0%	0%	0%			17	7	7					
	18	14.3%	28.6%	14.3%	42.9%			18	7	1	2	1	3		
	19	100%	0%	0%	0%			19	7	7					
	20	100%	0%	0%	0%			20	7	7					
	21	100%	0%	0%	0%			21	7	7					
	22	100%	0%	0%	0%			22	7	7					
	23	86%	0%	0%	14%			23	7	6			1		
非常時等 の対応	24	86%	0%	0%	14%			24	7	6			1		
	25	86%	0%	0%	14%			25	7	6			1		
	26	86%	0%	0%	14%			26	7	6			1		
	27	100%	0%	0%	0%			27	7	7					
満足度	28	100%	0%	0%	0%			28	7	7					

29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%				29	7	7			
----	------------------	------	----	----	----	--	--	--	----	---	---	--	--	--

											(別紙5)			
公表 児童発達支援事業所における自己評価結果														
事業所名		U-KIDS' SAKAISUJIHOMMACHI									公表日 3月6日2026年			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	No	集計数	はい	いいえ				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100.0%	0.0%			1	4	4					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%			2	4	4					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%			3	4	4					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	75%	25%			4	4	3	1				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%			5	4	4					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%			6	4	4					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%			7	4	4					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%			8	4	4					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50.0%	50.0%			9	4	2	2				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%			10	4	4					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%			11	4	4					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%			12	4	4					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%			13	4	4					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%			14	4	4					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%			15	4	4					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%			16	4	4					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%			17	4	4					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%			18	4	4					
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%			19	4	4					
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%			20	4	4					
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%			21	4	4					
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%			22	4	4					
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%			23	4	4					
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%			24	4	4						

関係機関 や保 護者 との 連 携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75.0%	25.0%			25	4	3	1
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100.0%	0.0%			26	4	4	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100.0%	0.0%			27	4	4	
	28	(28～30は、センターのみ回答)								
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					28		4	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					29			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					30			
	31	(31は、事業所のみ回答)								
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0.0%	100.0%			31	4		4
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0.0%	100.0%			32	4		4
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%			33	4	4		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%			34	4		4	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%			35	4	4	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%			36	4	4	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%			37	4	4	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%			38	4	4	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0.0%	100.0%			39	4		4
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%			40	4	4	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%			41	4	4	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%			42	4	4	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%			43	4	4	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%			44	4		4
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%			45	4	4	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%			46	4	4	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%			47	4	4	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.0%	0.0%			48	4	4	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%			49	4	4	

50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%				50	4	4	
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%				51	4	4	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%				52	4	4	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100.0%	0.0%				53	4	4	